

エルムステークス

王道ステップのマリーン S 組が有利で過去 10 年で 7 頭が馬券に。
うち 6 頭が前走 3 人気以内。実績が重要なレースで前走までの
実績の指標になる前走人気も重要。

つまり、前走までに実績を積んでいて王道ステップを歩んだ馬が有利。

ロードエクレールは前走 3 人気で 3 着。
母父は今開催好調の母父エーピーインディの名血マインシャフト。
父は母父を引き出すロードカナロア。
土曜も同コースで産駒が 1 着。土曜も古馬混合戦は 4 角先頭馬がどちらも馬券に。

対抗オメガレインボーは、当レース、土曜も好調のロベルトを持つ唯一の馬

唯一前走 4 人気以下で馬券になったオメガレインボーは連続好走中だった馬。

今年のおメガレインボーは前走 1 人気。
わかりやすく(笑)、たたき台で負けてきた理想のステップ。

スワーヴアラミスも当レース期待値高い斤量背負った実績馬。
土曜の馬場傾向にも合う馬。

わざわざ 3 人気以内と書いておきながら、、、

4 番手はブラックアーメット。
前走は 4 人気ですが 3 人気とは 0.1 倍差。
前々走は今回も出走馬が多い大沼 S を 1 人気。
落鉄。前走は出遅れ。戦歴の傾向的には期待値高いです。

レパードステークス

レパード S は父も母父も非サンデー系の期待値が高いレース。
サンデーの「伸び」が強調されていない配合馬が有利。

昨年も父と母父がどちらも非サンデー系のスウィープザボードが 10 番人気 2 着。

2020 年もケンシンコウが 7 番人気 1 着、blankチェックが 5 番人気 3 着。
2019 年は 10 番人気 1 着がハヤヤッコ、2 着はデルマルブルー、
11 番人気 3 着のトイガー。
いずれも父も母父もサンデー系(大系統)ではない馬。

土曜の馬場は父米国型。
特に母父非サンデー系が人気薄で馬券になった馬多数。

本命はヘラルドバローズ。

父シニスターミニスター。
JRA のダート中距離でも名系統のエーピーインディ系。
母父は欧州型のアーチ。
当レース向きの欧州要素と米国要素をミックスされた配合。
父米国型で母父非サンデー系は土曜も好調。

タイセイドレフォンもサンデーを持たない配合馬。
父ドレフォンは中距離ダートが適性の本質。
母デイトユアドリームは砂 1400m 以下で 4 勝。
砂競馬のスケールとスピードを強化する母。

母母父ヌレイエフは砂中距離の名馬ゴールドアリュールの母父。
当レース向きの砂中距離の適性を強化した配合馬。